

# 比較現代日本論講読Ⅰ / 現代日本論講読

「現代日本論論文講読」大学院生・3年生対象：2012年度後期  
<金2>授業観察室（文学部・法学部合同研究棟2F）

## 授業の概要

### 授業の目的

- 論文の探しかたを習得する
- 論文の読みかたを習得する
- プレゼンテーションの方法を習得する（Microsoft Powerpoint を使用）
- 現代日本文化についての知識を深める

※「現代」というのは、およそ1970年以降のことと考えてください。

### 授業予定

1. イントロダクション（10/5）
2. 論文をさがす（10/12～19）
3. プレゼンテーション資料の作成方法（10/26）
4. 論文の読みかた（11/9～16）
5. プレゼンテーションの実際（11/30）
6. 各論文の報告（12/7～1/25）

※ プレゼンテーションは録画します。各自で見て、反省の材料にしてください。担当が一巡したところで、全員で見直す機会を持ちます。

※ 受講人数によって、予定を変更する場合があります。

### 成績評価について

- 授業中の課題（30%）、報告（40%）、質疑応答（30%）によります。

### 教科書

- 東北大学附属図書館（2010）『東北大学生のための情報探索の基礎知識 基本編 2010』。
- 東北大学附属図書館（2007）『東北大学生のための情報探索の基礎知識 人文社会科学編』。

※ 図書館ではすでに在庫切れで、入手困難です。印刷版が入手できない場合は、[http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat\\_id=3](http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/?cat_id=3) から、必要部分を閲覧してください。

### 参考書

- 佐藤望（編）（2012）『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』（第2版）慶應義塾大学出版会。
- 諏訪邦夫（1995）『発表の技法』（ブルーバックス）講談社。
- 藤沢晃治（1999）『「分かりやすい表現」の技術』（ブルーバックス）講談社。
- 木下是雄（1981）『理科系の作文技術』（中公新書）中央公論新社。
- 化学同人（1994）『若い研究者のための上手なプレゼンテーションのコツ』化学同人。

- ・ 齊山弥生・沖田弓子 (1996) 『研究発表の方法』 凡人社。
- ・ プロジェクト A・できるシリーズ編集部 (2003) 『できる PowerPoint 活用編: 2000&2002 対応』 インプレス。

授業中に使うわけではありませんが、論文の読み方やプレゼンテーションの参考になるはずです。

## 各論文の報告

ひとつの論文について、つぎの4つの観点から報告をしてもらいます。

1. 鍵概念の抽出 (scanning)
2. 構造の抽出 (skimming)
3. 図表の解説
4. ロジックの抽出 (結論とその根拠)

これらをひとりずつで分担して、計4人でひとつの論文を担当します

ひとりの報告は10分で、それに対する質疑の時間を20分とります。

1回の授業で2人の報告をおこないます。つまり1本の論文を2回にわけて検討することになります。

報告者は、配布資料 (ハンドアウト) と提示資料 (PowerPoint ファイル) を用意してください。

- ・ 配布資料は人数分のコピーを用意します (研究室のコピー機を使ってください)
- ・ 提示資料は研究室ネットワークの授業用フォルダ内にあらかじめコピーしておいてください
- ・ 10分におさまるように事前に練習をしておいてください

報告者以外の人、論文を事前に読んで、質問を考えてきてください。報告のあとの質疑のときに手を挙げて質問するのが原則です。「司会役」も受講者をお願いするかもしれません (未定)。

## 次回 (10/12) までの宿題

1. 教科書を読んでおくこと：
  - 基本編: 2.3 節 (pp. 19-32), 3.1-3.4 節 (pp. 40-69), 4 章 (pp. 88-116)
  - 人文社会科学編: 1 章 (pp. 2-12), 2.2.2-2.2.3 節 (pp. 27-41)
2. 自分が読みたい論文のテーマと、それをさがすのに必要なキーワードを考えておく

## 連絡先

田中重人 (東北大学文学部日本語教育学研究室)  
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 文学部・法学部合同研究棟 2F  
E-mail: tanakas2009@sal.tohoku.ac.jp

オフィス・アワーは定めていないので、質問等がある場合は、あらかじめ予約をとること。

受講者への連絡は、基本的に、授業においてまたは文学部 2F 教務係前の掲示板においておこないます。ただし、休講などで緊急を要する連絡は、田中の個人ブログ (School カテゴリの記事) に掲載することがあります。 <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/newsj.html> を参照。